

1. 房総の偉人

この人々は、千葉県が生んだ偉大な先覚者たちの中から、県がとくに選んだ20人です。(生年順による。)

千葉常胤 (1118~1201)

猪鼻城によった千葉氏最盛期の城主。

日蓮 (1222~1282)

安房郡天津小湊町出身。日蓮宗の開祖。「立正安国論」を説いた人。

菱川師宣 (不詳~1694)

安房郡鋸南町出身。浮世絵版画の創始者。

青木昆陽 (1698~1769)

山武郡九十九里町と千葉市幕張町で甘藷を試作し、普及に努め、大凶作を救った。

伊能忠敬 (1745~1818)

山武郡九十九里町出身。18歳で佐原の伊能家を継ぐ。日本最初の実測地図を完成した人。

大原幽学 (1797~1858)

世界最初の産業信用組合をつくり、農民教育と農村改革を実践した。

佐藤泰然 (1804~1872)

新しい外科手術や種痘など、近代医学の先駆者。

堀田正睦 (1810~1864)

佐倉市出身。佐倉藩主。幕末の進歩的的老中として明治開化に多大の貢献をした。

佐藤舜海 (1827~1882)

香取郡小見川町出身。医家。順天堂病院を創立。東京大学医学部前身の大学東校主宰者。

西村茂樹 (1828~1902)

佐倉市出身。佐倉藩の執政。明六社をおこし進歩的文明評論で世を指導「国語辞典」「故事類苑」を編さん。

柴原和 (1832~1905)

千葉県初代県令。当時の日本三県令の一人。教育に力を入れ、千葉大学医学部の基礎をきずいた。

佐藤志津 (1851~1919)

佐倉市出身。情熱の女子教育家。東京女子美術学校初代校長。佐藤高等女子学校を設立。

醍醐新兵衛 (1852~1904)

捕鯨の父。安房郡勝山で代々捕鯨に従事。

坪井玄道 (1852~1922)

市川市出身。教育家。学校体育の基礎を確立した人。

石川倉次 (1858~1945)

市原市南総出身。教育家。フランスの盲人ルイ・ブライユの考案した点字を50音式に翻案した人。

伊藤左千夫 (1864~1913)

山武郡成東町出身。近代歌壇の巨匠。短歌「アララギ」の発刊を主宰。

津田梅子 (1864~1929)

女子教育の母。わが国最初の女子米国留学生となる。今日の津田塾大学を創立した。

白鳥倉吉 (1865~1942)

茂原市出身。歴史学者。東京大学名誉教授。「満州歴史地理」「朝鮮歴史地理」をあらわした。

鈴木貫太郎 (1867~1948)

東葛飾郡閑宿町出身。海軍大将。第2次世界大戦終末時の首相。

国木田独歩 (1871~1908)

銚子市出身。詩人。作家自然主義文学の重鎮。「武蔵野」「牛肉と馬鈴薯」等の著書がある。